



平成24年1月31日

各位

会社名： 株式会社トプコン
代表者： 取締役社長 内田 憲 男
(コード番号 7732 東証第一部)
問合せ先： 経理グループ統括
取締役兼常務執行役員
小川 隆 之
電 話： 03 (3558) 2536

経営資源最適配分のためのファインテックビジネスの事業縮小に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、企業価値の最大化をすべく経営資源再配分を行うためにファインテックビジネスの事業縮小を実施することについて決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 事業縮小の理由

当社グループのファインテックビジネスは、半導体及びフラットパネルディスプレイ（以下FPD）産業で使用される検査・製造装置、電子ビーム関連装置及びプロジェクター用光学エンジン、DVD用光学部品等を主力商品として事業展開をしております。

当社グループは、「事業構造の改革と強化」を旗印に、安定した収益基盤及び健全な財務体質を早期に確立し、外部環境に左右されない、より強固な企業体質に変革すべく取り組んでおりますが、ファインテックビジネスは、半導体及びFPDの景気循環の影響を大きく受け、また長期的なビジネスサイクルや開発投資により、一時的な受注の拡大により好調だった前年度以外は、営業赤字となっており厳しい業績が続いております。特に本年度は半導体及びFPD市場の急激な落ち込みで大型案件が軒並み凍結もしくは延期されたこと、円高の進行による海外での価格競争にさらされたこと等により、売上・損益が大きく悪化する見通しです。

このような状況を踏まえ、当社グループでは、ステークホルダー共通の利益に資する経営を全うするためには、投下する経営資源の効率化を推進し更なる事業拡大と経営基盤の安定に努め、企業価値の最大化を図るためには、ファインテックビジネスの大幅な事業縮小を実施し、ポジショニングビジネスとアイケアビジネスに経営資源を集中投下していくことが最善であると判断いたしました。

2. 事業縮小の内容

半導体関連では最先端光検査装置、大型電子顕微鏡検査装置、透過電子顕微鏡、3次元検査装置、デバイス関連ではプロジェクター用光学エンジン、DVD光学部品の開発・製造・販売を中止いたします。

今後事業拡大と収益性向上が期待出来るサブストレート投影露光装置、エコデバイス検査装置、光計測機、複合型電子顕微鏡、複写機用光学ユニットについては、当社連結子会社にて、開発・製造・販売を継続する予定です。

これに伴い、縮小事業に関わる資産等につきましては、平成24年3月末をめどに廃却・売却を進め、当該部門に関わる従業員につきましては適正化を図ってまいります。

尚、製品によっては顧客と協議の上、段階的に生産販売を縮小していき、また過去に販売した製品につきましては、当社連結子会社にて継続してサポート（保守、修理）をいたします。

縮小事業の経営成績

	平成21年3月期	平成22年3月期	平成23年3月期
縮小事業の売上高	13,942百万円	8,196百万円	13,023百万円
(ファインテックビジネス連結売上高)	(21,131百万円)	(13,950百万円)	(19,964百万円)

3. 特別損失の内容

上記事業縮小により、平成24年3月期第3四半期連結決算において、4,189百万円の特別損失を計上いたしました。この特別損失には、撤退・縮小事業の棚卸資産・固定資産の評価減、人員削減費用、関係会社清算費用などを含んでおります。

4. 今後の見通し

上記特別損失を含めた平成24年3月期通期の業績見通しにつきましては、本日別途発表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

以 上